

## 日本労働社会学会 『日本労働社会学会年報』、『労働社会学研究』 投稿の勧め

日本労働社会学会

### 【『日本労働社会学会年報』について】

<http://www.jals.jp/nenpo/index.html#kibou>



日本労働社会学会は毎年10月頃に、『日本労働社会学会年報』（通称、年報）を発行してきました。研究大会や研究例会に並ぶ会員の研究成果発表の場となっています。前年の研究大会シンポジウムを取り上げた特集、会員の投稿論文・研究ノート、および書評などが掲載され、小特集が組まれる年もあります。

毎年2月末に編集委員会が投稿募集の呼びかけを行います。投稿を希望する方は、毎年の投稿募集および投稿規定を一読の上、編集委員会に投稿予告を行った上で投稿してください。いずれも締切が設定されていますので、締切を厳守してください。受領された論文および研究ノートは2名による査読が行われ、掲載の可否が決まります。

論文及び研究ノートの分量は24,000字以内です。

過去に掲載された論文、研究ノート、書評につきましてオンラインで公開しています。国立研究開発法人科学技術振興機構が運営するJ-STAGEからご覧ください。

J-STAGE『日本労働社会学会年報』

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/arls/list/-char/ja>



### 【『労働社会学研究』について】

<http://www.jals.jp/journal/index.html>



『日本労働社会学会年報』は、原稿枚数を限定したコンパクトな論文を中心とする理論誌としての体裁が整い、今日に至っております。その反面、実態調査研究が掲載されにくいという声もきかれるようになりました。実態調査研究を活性化させるため、十分な原稿枚数を保証した実態調査報告を思う存分に執筆していただく場として、『労働社会学研究』（通称、ジャーナル）は創刊されました。

毎年4月初めに編集委員会が投稿募集の呼びかけを行います。投稿を希望する方は、毎年の投稿募集および投稿規定を一読の上、編集委員会に投稿予告を行った上で投稿してください。いずれも締切が設定されていますので、締切を厳守してください。受領された論文および研究ノートは2名による査読が行われ、掲載の可否が決まります。

論文及び研究ノートの分量は16,000字以上32,000字以内です。

論文や研究ノートはオンライン学術誌として、翌年の3月頃に国立研究開発法人科学技術振興機構が運営するJ-STAGEで公開されます。

J-STAGE『労働社会学年報』

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jjals/list/-char/ja>

